

## 【資料2】町民ワークショップの実施とその結果について

平成28年7月28日と29日の2日間にわたり、公共施設について考えるワークショップを実施し、参加された町民の方々から様々なご意見を頂戴しました。

### 1. 実施の目的と実施結果

このワークショップは、公共施設等総合管理計画を策定するにあたり、町の職員だけでなく、地域住民の目線で、公共施設の在り方やマネジメントの方針を考えるために開催したものです。町民の代表として、町議会議員や各町内会長の方々にご参加いただき、公共施設の現状について知っていただいたうえで、その利用状況や必要性、将来的な展望について考えていただき、ご意見をいただきました。

当日は、一般社団法人公会計研究センターの浅田理事を講師に招き、国の方針や全国の自治体における具体的事例等を紹介いただいた後、複数のグループに分かれてグループディスカッションを行い、その中で出されたご意見をグループごとに発表していただき、全体で共有し総括しました。

## 八雲町公共施設に関する町民ワークショップ 次第

日時・場所 7月28日(木)  
14時00分 はぴあ八雲コミセンホール  
7月29日(金)  
14時00分 熊石総合支所第1, 2会議室

### 1 開 会

### 2 挨拶 八雲町長 岩村克詔

### 3 総務省の狙いや他市町村における策定事例 14:10~14:30・・・資料1 講 師 一般社団法人地方公会計研究センター 代表理事 浅田 隆治 様

### 4 八雲町公共施設等の現状 14:30~14:55・・・・・・・・・・・・・資料2 八雲町公共施設白書について

### 5 ワークショップ 15:00~17:00・・・・・・・・・・・・・資料3 テーマ 「どうなる! どうする! 考えよう! 八雲町の公共施設」 ファシリテーター 一般社団法人地方公会計研究センター 代表理事 浅田 隆治 様 株式会社吉岡経営センター 部長 丸尾 重憲 様 メディカルコンサルティング部 株式会社吉岡経営センター 昔農 裕紀 様 コンサルティング部

発 表 16:30~16:50

講 評 16:50~17:00

### 6 閉 会

## 2. ワークショップにおける公共施設についての基本方針

以下は、町民ワークショップにて出された様々なご意見を施設分類ごとにまとめたものです。

### (1)総合的な基本方針

- 公共施設の複合化、集約化、廃止、統廃合を基本方針とし、新規の施設や改修等の整備事業については単独では行わない。
- 利用率や老朽化率を基準に施設ごとにランク付けし、計画的に管理する。
- 町民の利便性を重視しつつ、利用率の低い施設などは縮小や統廃合を検討する。
- 前もって予防的修繕を行い、施設の長寿命化を図る。
- 人口が減少していても命や生活に関わるインフラの整備は必要である。

### (2)施設分類ごとの基本方針

#### ①行政施設

- 役場を中心とした施設の集約と財政の集中を検討する。
- 災害拠点として役場庁舎の建て替え（耐震化）は必要である。
- 建て替えと同時に、保健施設や社会教育施設との複合化を図る。

#### ②保健・福祉施設

- シルバープラザを中心に整備するなど、統合や複合化を検討する。
- 保育園は統合、デイサービスセンターは民間委託など、経費削減も視野に入れつつも、遠方の利用者へ配慮した手当ても必要となる。

#### ③医療施設

- 国保病院と歯科診療所の統合を検討する。
- 民間への委譲も視野に入れ、現状を維持しつつ経営努力を重ねる。

#### ④地域会館

- 利用状況を調査・把握したうえで統廃合を検討する。

## ⑤町営住宅

- ・需要に合わせて戸数を調整し、空き家を減らす。
- ・古くなった住宅は需要を調査のうえ整備または解体する。

## ⑥産業・観光施設

- ・民間に委託・委譲できるものは積極的に検討する。
- ・キャンプ場の遊具を整備し、外部の観光客も呼び込む。

## ⑦社会教育施設

- ・公民館や資料館など老朽化している施設は建て替えと同時に複合化を検討する。
- ・統廃合や複合化の検討においては、利用率だけでなく災害時の避難場所としての必要性も考慮する。

## ⑧体育施設

- ・需要を調査し、利用量の向上を図り開館日数や開館時間等を見直す。
- ・利用料の見直し、または民間への運営の委託を検討する。

## ⑨学校教育施設

- ・体育館やプールについては地域住民が利用しやすいように整備する。
- ・廃校や空き校舎の再利用や転用方法を検討する。

## ⑩教職員住宅

- ・空き住宅の転用等、学校施設ともリンクした利用方法を検討する。
- ・古いものは安全性も考慮し解体も検討する。

## ⑪消防施設

- ・防災拠点センターとしての機能を整備する。
- ・地域会館や避難場所としての役割を兼ねるよう複合化を検討する。

## ⑫公園施設

- ・小公園の集約化を検討し、遊具を整備し適正に管理する。

### ⑬環境衛生施設

- 生活に必要な施設として、現状維持とする。

### ⑭その他

- 避難所の箇所数や整備状況は、今のままで充分か確認する。
- 町の子供たちが、海の自然を体験できる工夫があったほうが良い。
- 町外からの来客増を見込むためにはトイレの水洗化などの整備が必要である。